

# 面 接 票

# 自殺予防と遺族支援のための基礎調査

## I 調査の導入部分

第1回調査日： \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

開始時間： \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_\_分  
(時刻表のように24時間で記入)

注：調査が1回のみであれば、次の項目は記入不要。

第2回調査日： \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

開始時間： \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_\_分  
(時刻表のように24時間で記入)

## 面接票

調査地域： \_\_\_\_\_

調査番号： \_\_\_\_\_

国立精神・神経センター精神保健研究所

2007年12月

**自己紹介と調査の説明**  
調査員はまず自己紹介をする。次に、調査員は回答者に持参した研究内容の説明書を読む。以下を参考に  
して、調査の目的、調査の方法、調査内容の守秘について回答者に伝える。

- ―― 日本では1998年以來自殺が増加しており、大きな社会問題として認識されています。毎年少なくとも自殺で3万人の方が亡くなっています。自殺は本人だけでなく、家族はもちろんのこと社会にも大きな影響を与えます。
- ―― 自殺の原因はまだ十分に明らかになっていません。有効な予防対策を講じるため、自殺が起こる理由や背景を理解することが必要だと考えています。
- ―― この問題を明らかにするため、国立精神・神経センター精神保健研究所が中心となって、全国で自殺に関連する要因についての調査を行なっております。
- ―― この調査では、自殺で亡くなった方のご家族または知人を訪問させていただきます。亡くなった前後の状況や、その方が生前どんな方だったのかについてうかがっています。亡くなられた人からは実際にお話を聞けないので、わからないこともあるかもしれませんが、うかがった内容から自殺をおこさないことに役立つ情報を明らかにし、対策に生かしたいと考えています。残されたご遺族のお気持ちやお考えを理解し、ご遺族への支援として困りや他感ができることがないかどうかを明らかにしたいと考えています。
- ―― 調査は聞き取り調査の形式で行われ、2時間程度かかります。  
(必要があれば)小冊子1ページ目を開いて回答者に見せ、下記の説明を行う
  - ◇ 調査は、大きく、自由にお話をしていただく部分と、こちらから決まった質問をさせていただきます。自由にお話をしていただく部分では、生前どんな方だったのか、また亡くなった前後の状況についてうかがいます。あなた自身の現在のお考えやお気持ちなど、ここでお話しただいただいてもかまいません。
  - ◇ 決まった質問をさせていただきます。ここに書いてある項目について1つずつ質問をさせていただきます。
  - ◇ その後に、ご遺族の方のお気持ちをお聴きかせいただく部分も設けております。これまで抱えていらしたお気持ちや、今日のお話の中で色々と思いついたり、感じたりしたことについて何でもお話し下さい。ただし、話したくないことは無理に話さうとしないので結構です。
- ―― お話になった内容については、東京にある国立精神・神経センター精神保健研究所に集められ、集計されます。ご本人やあなたのお名前が外に出ることはありません。お答えになりたくない質問があれば、そうおっしゃってください。その質問はとばします。また、いったん研究に参加された後も、撤回することができます。

**同意書の取得**

説明後、少し間を置き、調査対象者から質問がないか、あるいは調査員に要望がないかを確認する。  
「なにか質問やご要望はございますか？」

調査員：同意書へのサインが拒否的であった場合は、以下の説明を追加する。

「私どもは、この調査の目的をはじめにきちんと説明する義務があり、同意書は我々調査者がこの調査に責任を負っていることを理解していただいたかどうかを確認するために記入していただくものです。同意書に記入されても、いつでも同意の撤回はできますので、ご安心下さい。」

同意書に住所・氏名を記入してもらう。記入事項にもれがないかどうか確認する。

「調査への参加に同意いただけましたら、この同意書に必要事項をご記入ください」と依頼する。同意書は調査員が持ち帰り、保管すること。

調査員は、同意撤回書も回答者に渡し、以下の説明をする。

「こちらは同意撤回書になります。同意の撤回は、面接の途中や面接が終わってからでも、研究結果を公表するまでであれば、いつの段階でも行うことができます。同意の撤回を行う場合には、この同意撤回書に必要事項を記入して、われわれ調査員にお渡しください。その段階でああなたのデータを完全に敬棄いたします」

引き続き回答者に説明する。

―― 調査の間にお疲れになったら休憩をとることもできます。また、質問以外のことでも何かあればどうぞお聞かせください。

―― ではこれから始めさせて下さい。まず、お話を向うにあたって、ご本人やご家族に関して基本的なことをお伺いいたします。

**II ご本人とご家族に関する情報**

II-1. まず、あなた（回答者）ご自身について教えて下さい。

1. (調査員：性別を質問せずに記録) ( 1=男性 2=女性 )

2. 年齢はおいくつですか。 \_\_\_\_\_ 歳

3. 生年月日はいつですか。 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

4. あなたとご本人とのご関係は？

ご本人から見た回答者の続柄・関係のコードに○をつける：(もしも調査対象者が友人であり、そのうえ同様、上司であれば、友人を選択する。即ち、ご本人と最も近い関係を選択する)

10=父親	15=妹	20=配偶者の父母	25=上司・先輩	30=警察
11=母親	16=息子	21=その他の親族	26=部下・後輩	31=メールやネット上の知り合い
12=兄	17=娘	22=恋人	27=教師	32=その他 ( _____ )
13=姉	18=配偶者	23=友人	28=隣人	
14=弟	19=祖父母	24=同僚・同級生	29=医療従事者	



Ⅱ-3. それでは、ここからはご本人（亡くなられた方）についてお聞きしていきます。

1. 性別は(すでに分かっていたら)聞かずに記入)	_____
2. ご本人の生年月日を教えてください。	_____年 _____月 _____日
3. ご本人の学業年数(最終学歴)を教えてください。	_____年(_____)
4. ご本人の亡くなった日はいつでしょうか。	_____年 _____月 _____日
5. その時(亡くなったとき)の年齢はおいくつでしたか。	_____歳
6. 当時、ご本人(および家族と同居の場合には家族)は何という市町村にお住まいでしたか。	_____
市町村名: _____	_____
調査員: 以下の質問(7以外)ではすべて調査時点ではなく、死亡当時の状況を知ること意图していることに注意すること。	_____
7. (当時住んでおいでだった)この地区には、ご本人(および家族と同居の場合には家族)は何年前に転居してこられましたか。 (ずっと当該地区で生活していれば、99年と記入)	_____年前
8. (当時住んでおいでだった)お住まいには、ご本人(および家族と同居の場合には家族)は何年前に転居してこられましたか。 (ずっと当該地区で生活していれば、99年と記入)	_____年前
9. ご本人が亡くなった後に、ご家族は転居されましたか。 (0=いいえ；1=はい；2=死亡前から本人とは別の場所に住んでいた；9=不明)	_____
備考	_____

Ⅲ 自由な話し合いでの質問事項

それでは、ここからはもう少し具体的な経過についてお聞かせいただきたいと思います。事前にお知らせしたように今日はご本人が生前どんな方だったのかをはじめにうかがって、その後、少し詳しく経過について聞かせていただきます。

調査員: 記録は別紙にとり、このページ内の各項目の空欄には、後ほど調査員による「まとめ」を記入する。

○死亡の経過について

- ・ご本人の亡くなった経過についてご存知のことをお聞かせいただけますか？
- ・ご本人が亡くなった原因や動機について、思い当たることがあればお聞かせいただけますか？

--

○ご本人の人となりについて  
生前、ご本人はどんな方だったかについてお聞かせいただけますか？

性格・感情表現の仕方・自信を持っていたこと

--

趣味・気分転換に何をやっていたか・休日の過ごし方

--

対人関係の持ち方・家族関係・友人関係

--

IV 生活出来事

ありがとうございます。それでは、ここからはご本人の経験されてきた生活上の出来事についてうかがいたいと思います。

(回答者に、小冊子の2ページ、3ページの生活出来事一覧表を見せる)

この表は、誰でも経験するかもしれない日常生活上の出来事を挙げています。ここでは、ご本人が亡くなったことに直接関係があったかどうかとは関係なく、ご本人が経験された出来事についてうかがいます。

(別冊・ライフチャート図を切り離して回答者に見せる)

そして、ご本人の経験した出来事についてのお話を伺いながら、一緒にこの図の中に年表のようなものを作成していきたいと思えます。

(一覧表を指差して、まず出来事をいくつでもあげてもらおう)

まず、この中からご本人が経験された出来事があれば教えてください。

(「他にはありませんか?」と必ずたずねること)

① の欄に出来事の番号を記入する。番号をつけるのが難しければ空欄のままでもよい。  
② の欄に、簡単に何が起きたかを記入する。

③ その出来事が起こったのはいつでしたか。  
(西暦、年月日を記入する。もう一人は、同時にライフチャートに出来事とその時期を記載する。正確な時期が不明な場合は分かる範囲で記入する。)

④ はA以外のカテゴリの出来事について、その出来事が起こったときの具体的なエピソードを尋ねて、簡潔に記入  
◎頭に入れて聞くことは、下記の項目  
・出来事が起こったときの本人の言動  
・出来事が起こったときの回答者の言動や気持ち  
・出来事が起こったときの回答者以外の周囲の反応や評価

※記入欄が不足した場合は、調査票の余白に記入してください。

<p>② 出来事 の番号</p>						
<p>③ 出来事 の年月日</p>						
<p>④ その出来事 の具体的なエピソード</p>						
<p>⑤ 備考</p>						







V 特定の生活歴

これまで向ったところで、次のことについてまずは確認させて下さい。

1(a). ご本人の学生時代の学業成績はどのくらいでしたか。ご存知の範囲で教えて下さい。  
 [ ]

1(b). 15歳（中学校）以前に、学校でいじめや暴力にあうなどの出来事がありましたか。  
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

1(c). その他、学校でのエピソードで具体的にご存知のご存知のことがあれば教えて下さい。  
 [ ]

1(d). ご本人が15歳（中学校）以前に、ご両親のどちらかと死別したり、離婚を経験したりしたことがありましたか。  
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

1(e). 15歳（中学校）以前に、ご両親のどちらかから暴力をふるわれたり、ひどく無視されたりした経験がありますか。  
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

2(a). (情報がすでにある場合には質問せずに記入する) ご本人は結婚されたことがありますか。  
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

上記の質問の答えが「はい」であれば次の質問を行う。

2(b). ご本人が結婚されたのは何歳のときですか？（複数回あれば最後のときの年齢を記入）  
 歳 ————

3(a). ご本人は離婚した経験がありますか？  
 (0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

上記の質問の答えが「はい」であれば次の質問を行う。

3(b). ご本人が離婚されたのは何歳のときですか？（複数回あれば最後のときの年齢を記入）  
 歳 ————

備考

VI 死亡の状況

ここからは、私たちの方から決められた質問をさせていただきます。調査の性格上、事前に決められた通りにお話をうかがうようになっています。このため、すでにお話をうかがった点を再度ご質問し、確認をさせていただいたり、あるいは似たような質問を繰り返すこともあるかもしれませんが、どうぞご容赦ください。

（小冊子1ページ「決まった質問をさせていただいた部分」を示す。これからはこのような内容について順番にうかがってまいります。）

調査員：質問1から5では、自殺の場所と手段、時間的経過について聞き取る。すでにここまでのセクションで情報が得られているなら、質問せずに記入するか、あるいは不明な場合だけ補足の質問をして確認するだけとする。もしも、死亡時の状況や手段についてこれまでのセクションでふれられていないければ、次のようにたずねる。「もし差し支えなければ、ご本人の言われた状況についてもう少し詳しく教えていただけますか。」その後、少し時間をとって回答者が自由に話す範囲で状況を把握する。回答者によってはご本人の死亡状況を思い出すことが気持ちの負担になることもあるので、注意して質問を進めること。

最初に、ご本人が亡くなった時の様子について、いくつが確認させていただきたいと思えます。もしお答えになりたくなかったり、お答えになるのがお辛いようでしたら、その質問はとばしますので、遠慮なくそうおっしゃってください。

1. ご本人が自殺を図られた場所はどこでしたか。  
 (調査員「ご本人が亡くなった場所」とたずねてもよいが、死亡場所と異なる場合があるので注意すること)

1=ご本人の居宅やアパート内（敷地内なら物置、納屋なども含む）  
 2=(ご本人と別居の場合) ご家族の居宅やアパート内  
 3=職場  
 4=上記以外で家屋内（わかる範囲で記載）  
 5=自動車、列車など乗り物の中  
 6=屋外  
 7=その他（わかる範囲で記載）  
 9=場所不明

2(a). ご本人はどのような方法で亡くなられたのでしょうか。  
 (調査員は、下から1つを選んで○をつける。複数該当する場合には複数○をつけてよいが、最も主要な手段であるものに◎をつける。)

自殺手段についてのメモ欄

1=首吊り  
 2=飛び降り（高所からの飛び降り）  
 3=入水（溺死及び溺水）  
 4=薬物（睡眠薬や農薬、アルコール、有機溶剤）  
 5=ガス  
 6=飛び込み（移動中の物体の前への飛び込み等）  
 7=自動車などでの衝突  
 8=拳銃、爆発物  
 9=焼身  
 10=鋭利な物体や鈍器  
 11=その他の方法（凍死、感電など）  
 99=手段不明

2(b)自殺を図られたとき、ご本人は医師の処方薬、アルコール、薬物などを使用していた状態でしたか。  
(0=いいえ； 1=はい； 9=不明)

(調査員：“1”の場合は、2(a)の4に○をつけ、質問2(c)へ。“0”もしくは“9”の場合は、質問3へ)

- 2(c) 具体的には何を使用してしまいましたか。  
(複数を使用した場合には、複数に○をつけてかまわない)
- 1=解熱・鎮痛剤等
  - 2=向精神薬 (種類がわかれば該当するものに○をつける)
  - 2a. 睡眠薬、2b. 抗精神病薬、2c. 抗うつ剤、2d. 精神安定剤、2e. その他 [ ] )
  - 3=麻薬や覚醒剤
  - 4=その他の神経系に作用する薬物
  - 5=農薬、殺虫剤、除草剤等
  - 6=アルコール
  - 7=有機溶剤
  - 8=その他の有害物質 (わかる範囲で記載)
  - 9=薬物の種類不明

(調査員：「農薬を飲んで、自動車を運転し自殺を図った」といったように複数の手段が報告された場合には、「自由な話し合い」の中で得られた情報をもとに、調査員の判断で、より本人が主要な自殺手段として選んだと考えられる手段を「主要な手段」とする。)

(調査員：質問3から5では、自殺発生後の時間的な経過について聞き取ることを意図している。しかしこの部分の質問は、しばしば回答者につらい気持ちを引き起こし、負担を与えるので、十分注意する。できるだけ「自由な話し合い」等で得られた情報だけで、新しい質問をせずに記入するよう工夫する。情報が十分でない場合でも、回答者が自分から話されない場合には「不明」とし、6へ進む)

自殺を図った時間帯とその後の経過について  
3(a) ご本人が自殺を図られたのは、1日のうち何時頃でしたか？  
[時刻表のように(0～24時)で記入。不明な場合には99時と記入]

(調査員：死亡時から発見時までの時間的経過が分かれば具体的に記入)  
\_\_\_\_\_ 時頃

4. 自殺行為直後のご本人を発見した人がいましたか？  
(現場に居合わせた人が自殺を知りえなかった場合は誰かいたとはせず、“0”と記入)  
( 0=いいえ； 1=はい； 9=不明 )

(調査員：「0=いいえ」「9=不明」なら5へ進む。「1=はい」ならば、4(a)の質問を行う。)

4(a) 誰が発見しましたか？(3人以上であれば、ご本人と最も関係の深い3人に○)  
0=なし  
1=配偶者  
2=配偶者以外の家族  
3=その他の親族  
4=隣人  
5=同僚/同級生または友人  
6=他人  
8=その他 ( )  
9=不明

5. 亡くなられるまでの間に、ご本人は救急隊員や医師などの医療関係者から応急処置や治療を受けましたか？  
( 0=いいえ； 1=はい； 9=不明 )

(調査員：ここからは、原則、質問文にしたがってたずねてゆく。しかし、すでにわかっていることについては、回答者に簡単に確認するだけでよい。)

6. 引き続き、亡くなる前のご本人のご様子についておうかがいがいいと思います。  
6(a) ご本人は遺言を書いたり、あるいはメモまたは手記などを残されましたか。  
( 0=いいえ； 1=はい； 9=不明 )

(調査員：回答が“1=はい”なら、以下の文章を述べ、面接の最後で遺言の内容についてたずねること)「さしつかえなければ、後ほど、遺言の内容についてうかがいます」

6(b) 亡くなる前の1カ月間には、ご本人は誰かに、自分の死に関する口を出して話していませんか。  
( 0=いいえ； 1=はい； 9=不明 )

回答が“0=いいえ”または“9=不明”の場合には、以下のように適宜追加の質問を行い、間接的に死を運想させる発言がなかったかどうかを確認する。発言があれば6(b)の回答欄に“1=はい”と記録する。  
直接的な死に関する言葉でなくとも、「ずっと眠りたい」「消えたい」「いなくなりたい」などと話していたことはありますか。

調査員：6(b)が「いいえ」なら6(d)へ進む。「はい」の場合は次をたずねる。  
6(c) 誰に話されましたか。(最も重要な3人まで○)

- 10=父親
- 11=母親
- 12=兄
- 13=姉
- 14=弟
- 15=妹
- 16=息子
- 17=娘
- 18=配偶者
- 19=祖父母
- 20=配偶者の父母
- 21=その他の親族
- 22=恋人
- 23=友人
- 24=同僚・同級生
- 25=上司・先輩
- 26=部下・後輩
- 27=教師
- 28=隣人
- 29=医療従事者
- 30=警察
- 31=メールやネット上の知り合い
- 32=その他 ( )

6(d) (小冊子4ページ目のリストAを見せる)  
亡くなる前には、身の回りの整理をされる人がいると言われています。私たちはそれが本当かどうか調べたいと思っています。大変失礼ですが、ご本人は亡くなる前(おおよそ1カ月前)に、以下のようなお話をされたことありましたでしょうか？  
( あったものに○ )

- 0. いずれもなし
- 1. 自分の身の回りのものを整理した。
- 2. 仕事を一段落するまで片付けたり、人にまかせたりした。
- 3. 財産の目録を作ったり、家族にそれを渡したりした。
- 4. 金品を家族や知人に譲った。
- 5. 大切なものを家族や知人に譲った。
- 6. 日記や写真を処分した。
- 7. 普段会っていないような遠方の友人を訪ねた。
- 8. その他、具体的な行動 ( )

6(e) (小冊子4ページ目のリストBを見せる)  
 亡くなる前には、自分の身だしなみを気にしなくなると言われます。私たちはそれが本当かどうか調べたいと思っています。大変失礼ですが、亡くなる前1ヶ月間には、ご本人には、このリストのよう  
 な容姿・外見上の変化は見られましたか？ (あったものに○)

- 0=いずれもなし
- 1=入浴しなくなる
- 2=髪型を気にしなくなる
- 3=化粧をしなくなる
- 4=散髪をしなくなる
- 5=洗顔・歯磨きをしなくなる
- 6=同じ衣服を繰り返し着る
- 7=衣服の汚れを気にしなくなる
- 8=その他 ( )

6(f) (小冊子5ページ目のリストCを見せる)  
 同じく、亡くなる前には、不注意になったり、無謀と思われようような行動がみられたりするように  
 なるとも言われます。私たちはそれが本当かどうか調べたいと思っています。大変失礼ですが、亡く  
 なる前1ヶ月間には、ご本人には、このリストのようような行動がみられましたか？ (あったものに○)

- 0. いずれもなし
- 1. 不注意な交通事故や交通違反をおこす。
- 2. 自動車の運転が荒っぽくなる。
- 3. お金や貯金を使ってしまおうとする。
- 4. 無理な株式投資やギャンブルなどをとする。
- 5. 高価な買い物をする。
- 6. 定期的に飲んでいたり内服薬を飲まなくなる。
- 7. 医師の指示を聞かない。
- 8. 健康に関心がなくなったり、自分の健康の管理ができなくなる。
- 9. けんかや口論をする。
- 10. 社会的なルールに反した行動をとる。
- 11. 物をよこなくす。
- 12. 頻繁にケガをする。
- 13. 言葉遣いが荒くなる。
- 14. しばらく家に帰ってこなくなる。
- 15. 警察沙汰になる。
- 16. 突然、退職や離婚などの重大な決めごとをする。
- 17. お酒を飲んでトラブルを起こす。
- 18. その他 ( )

7. ご本人が亡くなる前1カ月間に、ご本人は自殺に関する報道を見聞きしたり、あるいは本や小説を  
 読んだと、あなたや周囲の人に話したことがありますか？ (0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)  
 調査員 : "0=いいえ"または"9=不明"の場合には質問8に進む。ある場合は以下の質問を行う。

7(a) ご本人はどこでこの報道にふれたり、本や小説のことを見聞きしたのですか？  
 (調査員 : 回答者の答えを聞いて、調査員が適切なものを選ぶ。複数に○をつけてもよい)

- 1=テレビ
- 2=映画
- 3=新聞
- 4=雑誌
- 5=小説
- 6=複数のルート
- 8=その他 ( )
- 9=不明

7(b) その報道、または本や小説ではどのような方法の自殺が扱われていましたか？  
 (調査員 : 回答者の答えを聞いて、調査員が適切なものを選ぶ。複数に○をつけてもよい)

- 00=具体的な自殺の方法についてのものではない
- 11=首吊り
- 12=飛び降り
- 13=入水
- 99=手段不明
- 14=薬物
- 15=ガス
- 16=飛び込み
- 17=自動車などでの衝突
- 18=拳銃、爆発物
- 19=焼身
- 20=鋭利な物体や銃器
- 21=その他の方法
- 22=自殺方法のマニュアル

8. これまでに、ご本人は意図的に自分の身体を傷つける行為、あるいは意図的に自分の健康を害する  
 行為がありましたか？(調査員 : 下記自傷行為の分類参照) (0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

調査員 : "0=いいえ"または"9=不明"の場合には質問9に進む。ある場合は以下の質問を行う。  
 8(a) これまでに何回ありましたか？ \_\_\_\_\_ 回

(調査員 : 不明な場合には99と記入する)  
 1回でも経験があった場合は、すべての経験について下記自傷歴記入表に記入する。

1度に複数の手段を用いていた場合は、回数を1回とみなし、「方法・手段」の記載欄に下記分類から複数の手  
 段を選択し記載すること。  
 日常的に行っていた場合は、8(a)の欄に8888と記入し、日常的行為記入欄にその状態を具体的に記入する。

自傷歴記入表

年齢 (歳)	方法・手段 (下記分類から選ぶ)	自殺の意図 0=なかった 1=あった 9=不明	命の危険性を感じたか 0=いいえ 1=はい 9=不明	医療行為 0=受けていない 1=通院治療 2=入院治療 9=不明

日常的行為記入欄

\_\_\_\_\_

自傷行為の分類(自己破壊的意図が家族に感じられる場合に限る。快楽目的や獲せ願望のみなどの場合は除く)

1. 身体を切る・刺す	2. 首つり・絞首	3. 窒息	4. 飛び降り・投身	5. 移動中物体等への飛び込み
6. 感電	7. 殴る・体をぶつける	8. アルコール	9. 火傷	10. 溺水
11. 有毒ガス吸引(煤炭・排気ガス・都市ガスなど)	12. 食事摂取の拒絶	13. 過量服薬		
14. 通常快楽目的で摂取される薬物(慢性性物質を含む)	15. 通常は摂取するものではないような異物・毒物			
16. その他(表の中に方法を具体的に記入)				

9. これまでにご本人は、失踪したり、行方が分からなくなったりしたことはありませんか。  
( 0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明 )

調査員：家族が違和感を覚えなかった、もしくは心配するような状態でなかった場合は「0=いいえ」と記録する。  
死亡時に失踪していた場合も数も含める。

「0=いいえ」または「9=不明」の場合には質問10に進む。ある場合は以下の質問を行う。

9(a). これまでに何回ありましたか？ \_\_\_\_\_ 回

(調査員：不明な場合には99と記入する)

1回でも経験があった場合は、すべての経験について下記失踪履歴記入表に記入する。  
死亡時の失踪については、開始時期を「死亡前～日」と、期間には「失踪開始から発見までの日数」と記載し、  
失踪理由には「自殺企図のため」と記載する。

ただし、日常的に行っていた場合は、9(a)の欄に8888と記入し、日常的行為記入欄にその状態を具体的に記入する。

失踪履歴記入表

失踪開始時期 (西暦)	失踪期間 (日数を記入)	失踪理由

日常的行為記入欄

10. 亡くなる前1年間には、ご本人は、例えば、交通事故、仕事上の事故や通勤、通学時の事故、家庭内での事故など事故を経験したことがありますか？(ご本人がけがをしながら治療する必要があったような経験です)  
( 0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明 )

調査員：なければ質問11に進む。ある場合は以下の質問を行う。

10(a) その1年間に、何回ありましたか？ \_\_\_\_\_ 回

11. 少し立ち入った質問になりますが、ご本人のご家族・親戚や友人・知人の方で、自殺未遂や自殺をされた方がおおいになりますか？  
(0=いいえ、1=はい、9=不明)

自殺未遂や自殺を経験した者がいれば、下の記入方法に従って表に記入し、いなければ空白にする。

ご本人との関係	① 関係の番号	② 性別	一番最近の自殺または自殺未遂の状況		⑥ ご本人が知っていた 0=いいえ 1=はい 9=不明
			③ 時期 (西暦)	④ 手段	
例：父親	x x	x	x	x x	x

表の記入方法

① ご本人との関係：「それはご本人とどんな関係の方ですか。」とたずねる。

ご本人との関係の番号を表に記入する。

10=父親	15=妹	20=配偶者の父母	25=上司・先輩	30=警察
11=母親	16=息子	21=その他の親族	26=部下・後輩	31=メールやネット上の知り合い
12=兄	17=娘	22=恋人	27=教師	32=その他( )
13=姉	18=配偶者	23=友人	28=隣人	
14=弟	19=祖父母	24=同僚・同級生	29=医療従事者	

② 性別：1=男 2=女 (わかっている場合には質問せずに記入する)

③ 時期： この自殺または自殺未遂があったのはいつかつたかたずねる。時期は西暦で記録する。

④ 手段：「どんな手段で自殺を図られたのですか」とたずねる。手段の番号を表に記入する。

1=首吊り	4=薬物	7=自動車などでの衝突	10=銃利な物体や銃器
2=飛び降り	5=ガス	8=拳銃、爆発物	11=その他の方法
3=入水	6=飛び込み	9=焼身自殺	99=手段不明

⑤ 結果： 0=自殺未遂 1=既遂

⑥ 「ご本人が知っていた」：「ご本人は、この方が自殺や自殺未遂をしたことを知っていましたか」とたずね、回答を記録する。コードは、0=いいえ 1=はい 9=不明。

備考

Ⅶ 仕事の状況

つづいて、ご本人のお仕事についてうかがいます。  
1(a) ご本人がお亡くなりになった時のご職業を教えてください。

(回答者の述べた内容に基づき、調査員が下記選択肢から1つを選んで○をつける。)  
複数該当する場合は、以下の質問をし、本人の主たる役割として、回答者が考えるもの1つに○をつける

「ご本人の主たる役割としていざいれか一つ選ぶとすれば、どれになりますか？」

- 1=自営者：雇い有り（農業、漁業を含む）
- 2=自営者：雇い無し（農業、漁業を含む）
- 3=家族従業員
- 4=被雇用者（休職中・非正規雇用を含む）
- 5=主婦/主夫
- 6=無職者
- 7=学生・生徒
- 9=不明

(調査員：質問1(a)の回答が 1,2,3 ⇒質問2へ 4 ⇒質問1(b)へ 5,6,7,9 ⇒質問6へ

1(b) 正規雇用でしたか。非正規雇用でしたか？

(正規雇用の場合、「管理職でしたか?」)

(非正規雇用の場合、「パートタイマーでしたか、アルバイトでしたか、嘱託でしたか、派遣社員でしたか、日雇いでしたか」)

- 1=正規雇用(1.a=管理職 1.b=管理職以外 1.c=不明)
- 2=非正規雇用(2.a=パートタイマー 2.b=アルバイト 2.c=嘱託 2.d=派遣社員 2.e=日雇 2.f=不明)
- 9=不明

質問2へ

-----死亡時の主な職業が自営業・家族従業員・正雇用・非正規雇用であった場合-----

2(調査員：仕事・勤務先が複数あることが明らかな場合、回答者に主要な1つを選んでもらう。)  
次の質問では、主な仕事1つについてお答えください。

2(a) どのような業種、あるいはどんな会社で働いておりましたか？

(回答者の述べた内容に基づき、調査員が下から1つを選んで○をつける。)

(「その他」の場合は、( )内に具体的に記入する)

- 10=農業
- 11=林業
- 12=漁業
- 13=鉱業
- 14=建設業
- 15=製造業
- 16=電気・ガス・熱供給・水道業
- 17=運輸・通信業
- 18=卸売・小売業、飲食店
- 19=金融・保険業
- 20=不動産業
- 21=サービス業
- 22=公務(他に分類されないもの) 88=その他 ( ) 99=不明

2(b) ここでは具体的にどのようなお仕事をしていましたか？

(回答者の述べた内容に基づき、調査員が下から1つを選んで○をつける。)

(「その他」の場合は、( )内に具体的に記入する)

- 10=専門的・技術的職業従事者
- 11=管理的職業従事者
- 12=事務従事者
- 13=販売従事者
- 14=サービス職業従事者
- 15=保安職業従事者
- 16=農林漁業従事者
- 17=運輸・通信従事者
- 18=生産工程・労務作業者
- 88=その他 ( ) 99=不明

2(c) 働いていた事業所(工場、事務所、店、など)には何人くらいの労働者がいましたか？

(回答者の述べた内容に基づき、調査員が下から1つを選ぶ。)

- 1=9人以下
- 2=10~49人
- 3=50~99人
- 4=100~499人
- 5=500~999人
- 6=1,000人以上
- 9=不明

2(d) 交代勤務や夜勤がありましたか？

(農業、漁業などで、いつも決まった時間に働いていた場合は、「日勤のみ」を選択する。)

- 1=日勤のみ
- 2=夜勤のみ
- 3=交代勤務(夜勤あり)
- 4=交代勤務(夜勤なし)
- 9=不明

3. ここからは、ご本人の生前の職歴についてお尋ねします。

3(a) ご本人は転職をされたことがありますか？

(調査員：自営業・家族従業員・正規雇用から非正規雇用への転職を含む。前の職を退職後、次の職に就くまでの期間は問わない。)

(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

3(b) ご本人は2つ以上のお仕事を兼業されていたことがありますか？

(自営業・家族従業員・正規雇用の仕事と非正規雇用の兼業や、副業を含む。)

(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

3(a)と3(b)がともに「0」「いいえ」または「9」「不明」の場合、質問5(a)へ進む。それ以外は質問4(a)を続ける。



-----死亡時職業が主婦・主夫・無職者・学生・生徒・不明であった場合-----

6. ここからは、ご本人の生前の職歴についてお尋ねします。

6(a)ご本人は、生前、自営業（農業・漁業を含む）、家族従業者、正規雇用、非正規雇用のいずれかのお仕事に就いたことがありますか？  
(本人の主たる役割としてこうした仕事に就いたことがあるかどうか)

(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

"1"「はい」の場合、質問7へ進む。 "0"「いいえ」または"9"「不明」の場合、質問16へ進む。

7. ご本人の最後のお仕事についてお聞かせ下さい。

(調査員：仕事・勤務先が複数あることが明らかな場合、回答者に主要な1つを選んで答えてもらう。)  
次の質問では、主な仕事1つについてお答えください。

7(a)最後のお仕事の就業形態を教えてください。

(調査員は聞き取った内容から、下記選択肢の中で当てはまるものを選択)

- 1=自営者：雇い有り（農業、漁業を含む） 2=自営者：雇い無し（農業、漁業を含む）  
3=家族従業者 4=被雇用者（正規雇用・管理職）

7(a) 正規雇用でしたか。非正規雇用でしたか？

(正規雇用の場合、「管理職でしたか？」)

(非正規雇用の場合、「パートタイマーでしたか、アルバイトでしたか、嘱託  
でしたか、派遣社員でしたか、日雇いででしたか？」)

- 1=正規雇用 (1.a=管理職 1.b=管理職以外 1.c=不明)  
2=非正規雇用 (2.a=パートタイマー 2.b=アルバイト 2.c=嘱託 2.d=派遣社員 2.e=日雇 2.f=不明)  
9=不明

7(b)どのような業種、あるいはどんなな会社で働いておいででしたか？

(回答者の述べた内容に基づき、調査員が下から1つを選んで○をつける。)

(「その他」の場合は、( )内に具体的に記入する)

- 10=農業 11=林業 12=漁業  
13=鉱業 14=運送業 15=製造業  
16=電気・ガス・熱供給・水道業 17=運輸・通信業 18=卸売・小売業、飲食店  
19=金融・保険業 20=不動産業 21=サービス業  
22=公務 (他に分類されないもの) 88=その他 ( ) 99=不明

7(c)ここでは具体的にどのようなお仕事をされていましたか？

(回答者の述べた内容に基づき、調査員が下から1つを選んで○をつける。)  
(「その他」の場合は、( )内に具体的に記入する)

- 10=専門的・技術的職業従事者 11=管理的職業従事者 12=事務従事者  
13=販売従事者 14=サービス職業従事者 15=保安職業従事者  
16=農林漁業従事者 17=運輸・通信従事者 18=生産工程・労務従事者  
88=その他 ( ) 99=不明

7(d)働いていた事業所（工場、事務所、店、など）には何人くらいの労働者がいましたか？

(回答者の述べた内容に基づき、調査員が下から1つを選ぶ。)

- 1=9人以下 2=10~49人 3=50~99人 4=100~499人  
5=500~999人 6=1,000人以上 9=不明

7(e)交代勤務や夜勤がありましたか？

(農業、漁業などで、いつも決まった時間に働いていた場合は、「日勤のみ」を選択する。)

- 1=日勤のみ 2=夜勤のみ 3=交代勤務（夜勤あり） 4=交代勤務（夜勤なし）  
8=その他 ( ) 9=不明

7(f)最後のお仕事をお辞めになったのは、お亡くなりになる1年以上前ですか、1年以内ですか？

(0=1年以上前 ; 1=1年以内 ; 9=不明)

(調査員：死亡前1年前後であることはわかっているが、詳細な時期が不明で、回答者がどちらか判断しかねる場合、「不明」とせず、「1年以内」とする)

8(a)ご本人は転職をされたことがありますか？

(調査員：転職について：自営業・家族従業者・正規雇用から非正規雇用への転職を含む。

前の職を退職後、次の職に就くまでの期間は問わない。

(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

8(b)ご本人は2つ以上のお仕事を兼業されていたことがありますか？

(自営業・家族従業者・正規雇用の仕事と非正規雇用の兼業や、副業を含む。)

(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

8(a)と8(b)がともに"0"「いいえ」または"9"「不明」の場合、質問10(a)へ進む。それ以外は質問9(a)を続ける。





11. 調査員：質問11(a)～15(c)は、死亡前の1年以内に仕事をしていた人が対象となる。

複数の仕事が重なっていた場合には、死亡時に最も近い時点での、主たる仕事1つについて問う。その仕事の連続する最後の6ヶ月間(ただし、最後の連続就業期間が6カ月未満の場合はその就業期間内)の平均について質問する。  
最後の連続就業期間が6カ月未満の場合、各設問中の「6ヶ月間」という期間を適宜言い換える。  
(マニュアル 付録：図1参照)

ここからは、ご本人がお仕事をされていた最後の6ヶ月間のことについてお尋ねします。

11 (a) お仕事をされていた最後の6ヶ月間、平均すると1ヶ月あたり何日間、働いていましたか？  
(わからない場合は99日と記入) — 日

11. (b) お仕事をされていた最後の6ヶ月間は、何時ごろ自宅を出て、何時ごろ帰宅していましたか？ また、通勤時間はどのくらいでしたか？  
(回答者の記憶する実際の時間を問う。わからない、不規則で決められない、などの場合には、99時99分と記入)

出勤 — 時 — 分  
帰宅 — 時 — 分  
片道通勤時間 — 時間 — 分

11 (c) お仕事をされていた最後の6ヶ月間、平均すると1日あたり何時間、働いていましたか？  
(自宅を出た時間、帰宅時間がわかれば、これを参考に調査員が計算してもよい。なお、通勤時間は含めない。わからない場合は99時間99分と記入)

— 時間 — 分

11 (d) お仕事をされていた最後の6ヶ月間、残業、または、通常より長い時間仕事をすることがありましたか？

(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

(調査員：最後の仕事に夜勤がないことが明らかでない場合は、次の質問はせず、「0日」と記入する。)

12 お仕事をされていた最後の6ヶ月間、平均すると1ヶ月あたり何日間、夜勤をされていたか？ (夜勤がない場合は「0日」と記入。わからない場合は「99日」と記入)

— 日

13 お仕事をされていた最後の6ヶ月間に、通常の勤務日や作業日でない日に仕事場で働くことがありましたか？

(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)  
「いいえ」「不明」であれば 質問14に進み、「はい」であれば、以下の質問を行う。

13(a) お仕事をされていた最後の6ヶ月間に、通常の勤務日や作業日でない日に仕事場で働くことは、平均すると1ヶ月あたり何日ありましたか？  
(わからない場合は99日と記入) — 日

13(b) お仕事をされていた最後の6ヶ月間に、通常の勤務日や作業日でない日に仕事場で働いた日は、平均すると1日あたり何時間働いていましたか？  
(わからない場合は99時間99分と記入) — 時間 — 分

14 お仕事をされていた最後の6ヶ月間に、仕事を持ち帰って、帰宅後や休日に家で仕事をすることがありましたか？  
(回答者が「はい」「あった」と答えた場合)とときどきですか？いつもでしたか？

(0=なし ; 1=ときどき ; 2=いつも ; 9=不明)

15 お仕事をされていた最後の6ヶ月間に、出張されたことはありましたか？  
(0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)

「いいえ」「不明」であれば質問16へ進む。「はい」であれば、以下の質問を行う。

15 (a) お仕事をされていた最後の6ヶ月間に、平均すると1ヶ月あたり何回出張してしまいましたか？  
(わからない場合は99回と記入)

15 (b) お仕事をされていた最後の6ヶ月間に、平均すると1ヶ月あたり何日間出張してしまいましたか？  
(わからない場合は99日と記入)

15 (c) お仕事をされていた最後の6ヶ月間に、国内、海外、どちらへの出張が多かったですか？  
("海外"という回答の場合)時差のあるところですか？  
(1=国内 2=海外 (時差なし) 3=海外 (時差あり) 9=不明)

Ⅷ 経済的問題

(調査員：特別な指示のない場合には以下の回答選択肢を使用する。)

- 0=確かでない
- 1=たぶんある(あるの可能性が高いが、確かでない)
- 2=確かにある
- 9=不明(回答者が状況を把握していない)

(収入について)

<p>1. ここからは、ご本人が経験されたかもしれない経済的な問題についてうかがいます。 失礼ですが、おどくなりになる前に、ご本人は生活費やお金のことでお困っておいででしたか？ (ここでは借金の有無は問わない。)</p> <p style="text-align: right;">( 0 : 1 : 2 : 9 )</p>
<p>2(a). ご本人(および同居のご家族)は、生活保護または障害年金、老齢年金を受けておいででしたか？ (調査員：該当するものすべてに○) ( 0=どれも受けていない ; 1=生活保護受給 ; 2=障害年金受給 ; 3=老齢年金 ; 9=不明 )</p> <p>2(b). (調査員：2(a)で"1"に○がついていない場合のみたずねる) ご本人は、生活に困った場合には、生活保護が受けられることをご存じだったでしょうか？ ( 0 : 1 : 2 : 9 )</p>
<p>3. ご本人は、世帯の主な稼ぎ手でしたか？ つまりご家庭の主な収入はご本人の収入によっていましたか？ (調査員：家庭の収入の半分以上を本人が稼いでいた場合には「主な収入源」とする)</p> <p>1=はい、本人の収入が主な収入源だった 2=いいえ、本人の収入は主な収入源ではなかった 3= (回答者が自発的に「ちょうど半分を稼いでいた」と回答した場合) 4=不明</p>
<p>4. ご本人の亡くなる前の1年間には、収入のあった同居ご家族を合世した1年間の収入は合計いくらくらいでしたか。税金を引かれる前の金額でお答えください。 (年金収入も含む。) (月収で回答された場合には月収の欄に記録すること)</p> <p>4(a). 調査員へ：上の金額は手取り(税引き後)か？ (0=いいえ ; 1=はい ; 9=不明)</p> <p style="text-align: right;">_____ 万円/年 (または _____ 万円/月)</p>
<p>5. 最期の1年間に、ご本人はギャンブルや投資に無計画にお金をつぎ込むことはありませんでしたか？ ( 0 : 1 : 2 : 9 )</p>

16 これまで向った内容以外で、仕事のつらさ、大変さについて、ご本人が訴えていたことなどがありませんでしたら、お聞かせいただけますか？(調査員は下記空欄に記述。パート・アルバイト・家事・育児・介護などの状況についても聞き取る。)

(借金について)

6. ご本人は、知人との貸し借りやローンなども含めて、借金をされたことがありますか? (0:1:2:9)  
(調査員: "0" または "9" であれば、質問18(生命保険)へ進む。そうでなければ、質問を続ける。)

6(a) ご本人は返済困難な借金をされたことがありますか? (0=いいえ; 1=はい; 9=不明)  
(調査員: "0" "9" であれば、質問18(生命保険)へ進む。  
"1" であれば、次の6(b)を質問する。

6(b) その借金の理由はどのようなものでしたか? (あてはまるものすべてに○)

- 10=住宅の購入
- 11=子供の学費
- 12=事業の悪化
- 13=失業
- 14=収入の減少
- 15=投資の失敗
- 16=事業資金補填
- 17=キャンセル
- 18=無計画な浪費
- 19=遊樂費
- 20=本人の病気またはケガ
- 21=家族の病気またはケガ
- 22=災害による被害
- 23=生活費
- 24=低収入
- 25=物品購入 (品名: \_\_\_\_\_)
- 26=連帯保証人となっていた
- 27=同一世帯に住む家族の借金
- 28=他の人の借金の肩代わり
- 88=その他 (\_\_\_\_\_)
- 99=不明

6(c) 借金が返済困難になったのはいつからですか? \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月

6(d) ご本人は複数の業者からお金を借り、その返済や利息支払いのためにまた新たな業者から借金を重ねていくような、多重債務の状態に陥っていたことはありましたか? (0:1:2:9)

(調査員: "1" または "2" であれば、質問6(e)を続ける。そうでなければ、質問6(f)へ進む)

6(e) 多重債務の状態に陥ったのはいつからでしたか? (不明の場合99日と記載) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月

6(f) 返済困難な借金は、どこからの借金でしたか? (調査員が聞き取った内容を空欄に記載)

6(g) ご本人の負債の総額は、最も多かったときでいくらかでしたか? \_\_\_\_\_万円

6(h) (小冊子6ページを回答者に示す) 小冊子6ページを見てください。ご本人がお持ちだった総資産と比較した場合、借金の総額はどの程度深刻であったと考えられますか? 影響は全くなかったですか、少しでしたか、中くらいでしたか、大きい影響がありましたか。

(0=全くない; 1=少し; 2=中くらい; 3=大きい; 9=不明)

7. 最期の1年間に、ご本人は、電気やガス、水道や電話の料金を、支払えない状況に陥っていたことはありませんか? (0:1:2:9)

8. 最期の1年間に、ご本人は借金の返済が期限より遅れていたことはありませんか? (0:1:2:9)  
(調査員: "1" または "2" であれば、質問を続ける。そうでなければ、質問9へ進む)

8(a) それはいつからでしたか? \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月

9. 最期の1年間に、ご本人が業者に借金の取立てを受けていたことはありませんか? (0:1:2:9)

(調査員: "1" または "2" であれば、質問を続ける。そうでなければ、質問10(a)へ進む)

9(a) それはどのような取立てでしたか? 具体的に教えてください (調査員が下記空欄に記載)

9(b) それはいつからでしたか? \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月

<p>10. 最期の1年間に、ご本人が借金の問題で思い悩んでいた様子はありましたか？ (調査員：“1”または“2”であれば、質問を続ける。そうでなければ、質問11へ進む) 10(a)それはいつからでしたか？ _____年 _____月 _____年 _____月</p>	( 0 : 1 : 2 : 9 )
<p>11. 自宅や職場の近くで、ご本人が、借金の問題について相談できるような場所がありましたか？ (弁護士・法律事務所・司法書士の出張相談会など。回答者が知っている範囲でよい。具体的な相談場所を調査員が空欄に記入)</p>	
<p>12. 最期の1年間に、ご本人は、弁護士や法律事務所、司法書士などの専門家に、借金の問題についての相談をしていたことはありましたか？ (調査員：“1”または“2”であれば、質問を続ける。そうでなければ、質問13へ進む) 12(a)それはいつからでしたか？ _____年 _____月</p>	( 0 : 1 : 2 : 9 )
<p>13. 最期の1年間に、ご本人は、ご家族や友人に、借金の問題についての相談をしていたことはありましたか？ (調査員：“1”または“2”であれば、質問を続ける。そうでなければ、質問14(a)へ進む) 13(a)それはいつからでしたか？ _____年 _____月</p>	( 0 : 1 : 2 : 9 )
<p>14(a). ご本人は借金の問題を解決するための手続き（自己破産や民事再生、任意整理など）についての知識を持っていましたか？ 14(b). ご本人（または代理人）が、借金の問題を解決するための方法（自己破産や民事再生、任意整理など）について、実際に手続きを完了させたことはありましたか？</p>	( 0 : 1 : 2 : 9 ) ( 0 : 1 : 2 : 9 )

<p>15 (a) 借金の問題は、ご本人が亡くなった時にもまだ続いていましたか。 1=亡くなった時にも続いていました (質問16へ進む) 2=亡くなる前に終わっていた (質問15 (b) をたずねる) 3=本人が亡くなることによって終わった (質問16へ進む)</p> <p>15 (b) 借金の問題はいつごろ終わりましたか。亡くなる前何ヶ月頃だったでしょうか。 _____月 _____年</p>
<p>16. (小冊子6ページを回答者に示す)小冊子6ページを見てください。最期の1カ月間に、借金の問題がご本人の日常生活、人間関係、仕事、勉強、家事に与えた影響は全体としてどの程度でしたか？ 影響は全くなかったですか、少しいましたか、中くらいでしたか、大きい影響がありましたか。 ( 0=全くない ; 1=少し ; 2=中くらい ; 3=大きい ; 9=不明 )</p>
<p>17. 引き続き小冊子を見てください。最期の1カ月間に、ご本人の借金の問題はご家庭にどのくらいの影響を与えましたか。影響は全くなかったですか、少しいましたか、中くらいでしたか、大きい影響がありましたか。 ( 0=全くない ; 1=少し ; 2=中くらい ; 3=大きい ; 9=不明 )</p>

<p>(生命保険について) 18 (a) ご本人は、生命保険に加入されておりましたか？ ( 0 : 1 : 2 : 9 )</p>
<p>調査員：“0”または“9”であれば、「区生活の質」へ進む。そうでなければ、質問を続ける。</p>
<p>18(b). 保険金の受取人ほどなたになっておりましたか？ 1=ご本人 2=ご家族 (ご本人との続柄： _____ ) 3=その他 ( _____ ) 9=不明</p>
<p>以下の設問は15 (a) が“1”もしくは“3”であった (亡くなる前に借金の問題があった) 場合のみたずねる。 18(c). 失礼な質問になるかもしれませんが、ご本人には、生命保険金によって借金の問題を解決しようというお考えがあったように思われますか？ ( 0 : 1 : 2 : 9 )</p>

<p>備考</p>
-----------